

わが街で暮らす

諏訪市地域医療・介護連携推進センター

ライフドアすわの取り組み

諏訪市地域医療・介護連携推進センター「ライフドアすわ」

は、高齢者に関する施策の具体的な推進計画を定めた「諏訪市高齢者福祉計画」において、諏訪市の将来像として掲げる「誰もが元気に安心して暮らせるまちづくり」を進めるため、諏訪市医師会が諏訪赤十字病院及び諏訪市社会福祉協議会と共同して諏訪市から委託を受け平成29年度に設置されました。

ライフドアすわの委託業務には四つの大きな役割があり、その中の一つが諏訪市地域ケア会議推進事業で、具体的な取組みとして諏訪市地域包括ケア推進会議があります。この会議では「本人が望む生活」を守り支えるため、地域医療と介護に従事する専門職の方々が、職種において可能な取り組みについて話し合い共有し、互いに職を越えて「具体的な可能なサービス」に



ついて話し合いました。

そして、地域のより良い包括システムの構築と向上を目指すために開催しております。開催は令和4年度に1回、令和5年度から年4回実施。令和6年度においては、先進的な取組みをしている奈良県生駒市の田中特命監を講師にお招きし、「高齢者が自立して生活するための地域づくり」と題して、3カ月から6カ月の短期間で運動機能の向上や栄養改善等のプログラムを実施する通所型サービスをCの取組みや様々なサービスを紹介

99

諏訪市地域医療・介護連携推進センター (ライフドアすわ)

ひ の ゆう いち
事務部長 日野 有一

諏訪市地域医療要覧から 諏訪市地域医療介護要覧へ改称

社会資源(情報誌)作成の取り組み

していただきました。そのなかで「諏訪市の社会資源がわからない」という専門職からの意見がありました。

そこで令和7年度においては諏訪市にある社会資源(情報誌)を多くの専門職に知ってもらうために、知ってもらうために「相談内容」を通じて情報誌を見てもらい提案を考えてもらう。また、相談に対し自分以外

の専門職がどのように考えるのか、ブラッシュアップの場としてグループワークを行い、多職種の方々が理解しやすく、また情報誌を一冊にまとめることで多くの情報誌を持ち歩かなくとも、この情報誌一冊を持つければ社会資源が提案できる情報誌の作成に取り組みました。

今年度においては、医療と介護連携推進の観点から、ライフドアすわが協力して諏訪市医師会が発行している「諏訪市地域医療要覧」を諏訪市地域医療介護要覧と改称し諏訪市内の社会資源を掲載し情報誌をまとめることとしました。情報誌をまとめるに当たっては、諏訪市医師会をはじめ、諏訪市歯科医師会、諏訪薬剤師会、介護事業所等の多大なるご理解とご協力を賜るとともに、専門職からの意見も取り入れ、各会に加入はしていないが掲載にご協力いただける医院、歯科医院、薬局なども掲載することといたしました。

諏訪市地域医療介護要覧
〈令和8年3月現在〉



一般社団法人 諏訪市医師会
※令和8年4月より変更が生じる場合があります。

今年度はこのような形で情報誌を作成し、今後、使用するなかで皆様からの意見を伺いさらに良い情報誌を作成していきたいと考えております。

ご協力いただきました関係者の皆様ありがとうございました。

次回は5月10日掲載予定です。